

執筆要項

1. 論文の掲載を希望する場合、投稿論文は編集員宛 journal@j-sel.org へメールで送信する。
2. 原稿はオリジナルのものと、著者を特定できる氏名・所属と謝辞等の記述を削除したものをそれぞれ作成し、送信すること。審査は無記名の原稿によって行われる。
3. 原著論文は、本文、図、表、引用文献、英文アブストラクト、キーワードなどを含めて、刷り上がり 8 頁以内(約 19200 字, 25 文字 x32 行, 800 字を 1 枚として 24 枚に相当) を原則とする(英語論文の場合は、刷り上がり 12 ページ, 約 7800 語の長さとする)。ただし編集委員会において特に必要と認められた場合はこの限りではない。
4. 投稿原稿は A4 判の白紙を縦置きにして使用する。各ページは、上下、左右に 3cm 以上の余白を取り、25 文字×32 行(800 字)とし、10.5 ポイント以上のサイズの文字を用いる。
5. 投稿原稿にはページと行番号を入れる。
6. 投稿論文の著作権は、日本 SEL 研究会に帰属する。
7. 投稿論文の審査結果を編集委員会から送信後、半年間返答がなかった場合は、自動的に不採択とする。
8. 投稿原稿の具体的な作成方法については、日本語論文については日本心理学会編『執筆・投稿の手引き』の最新版に従う。
9. 英語論文については、APA スタイルの最新版に従う。「*Publication Manual of the American Psychological Association*」参照。
10. 投稿論文には、日本語及び英語の要約とキーワードをつける。キーワードは 5 つ以内とする。英語要約の際には、熟達した人によるか、熟達した人の校閲を経ている必要がある。

投稿から審査の規定

受稿論文は査読者2名に、著者情報を伏せて依頼され、査読される。査読者名は著者には公表されない。

担当編集委員による判定

査読者による評価に基づき、担当編集委員の判定が行われる。

- i) 「このままで採択」
- ii) 「多少修正の必要あり」の場合には、修正・加筆が求められる。
- iii) 「大幅に修正・加筆後,再査読」の場合には、改稿が求められる。
- iv) 「不採択」
- v) 2名の査読者の評価が分かれた場合、担当編集委員で議論され評価を決定する。

注：ii) または iii) の判定において修正は2回までとする。

問い合わせ先

不明な点については、日本 SEL 学会 編集委員(E-mail: journal@j-sel.org)に問い合わせる。